

街なか再生サポーター会議 イラストブック

「銀天街 L 字地区の未来を考える」

銀天街 L 字地区は、再開発事業等の市街地整備の機運が高まっている地区で、官民連携によるまちづくりに向けた取り組みが、現在進行形で進められています。

今後、銀天街 L 字地区が松山の新たな「交流核（来たい・住みたい）」となるためには、何が必要なのでしょうか？

街なか再生サポーター会議は、会社員や主婦、学生、地元住民など様々な立場の方が集まって「銀天街 L 字地区の未来を考える」場として設けられました。

会議では、銀天街 L 字地区に必要な機能にスポットを当て、その機能を理想的な街のシーンという形で具体化し、このイラストブックにまとめました。このイラストブックには、魅力ある銀天街 L 字地区の未来が詰まっていますので、ぜひご覧ください。

イラスト内には、以下に示すキャラクターが登場します。

それぞれのキャラクターは、銀天街L字地区のなかでどのような生活を送っているのでしょうか。

ヨシアキさん (10代/男性)

松山市内の高校に通う男子高校生だよ。部活や遊びに充実しているけど、勉強は苦手かな。もうすぐ期末試験で、勉強の得意な友だちに相談したら、自習ができるおススメの場所を教えてくださいました。



ナツメさん (30代/女性)

結婚を機に、松山に越してきたの。昨年子どもが生まれて、初めての松山の暮らしには不安もあったけど、子育て世代に利用しやすいお店や施設が充実していて、最近では、ママ友との週に一度のランチ会が楽しみなの。



マサオカさん (70代/男性)

定年したあともまだまだ元気だから、思い切って夫婦でゲストハウスの運営を始めたら、なんと大盛況。今じゃたまに講演の依頼を受けるくらいだよ。天気の良い日は、夫婦で散歩したり、広場でくつろいだりしているよ。



タイラーさん (20代/男性)

松山に住む日本人の友だちに会うため、ガールフレンドと一緒に一週間の訪日中さ。松山の食事や観光がとても楽しみで、しかも、ガイドブックで話題のゲストハウスに宿泊できるなんて、本当にツイてるよ。

マツヤさん (40代/男性)

日中は営業に大忙しで、夜は同僚や仕事相手と飲み歩いて、これまた大忙し。街なかを歩いて、新しいお店を発掘できたときなんか最高だね。たまの休日は、スポーツセンターで身体を動かすのがマイブームだよ。



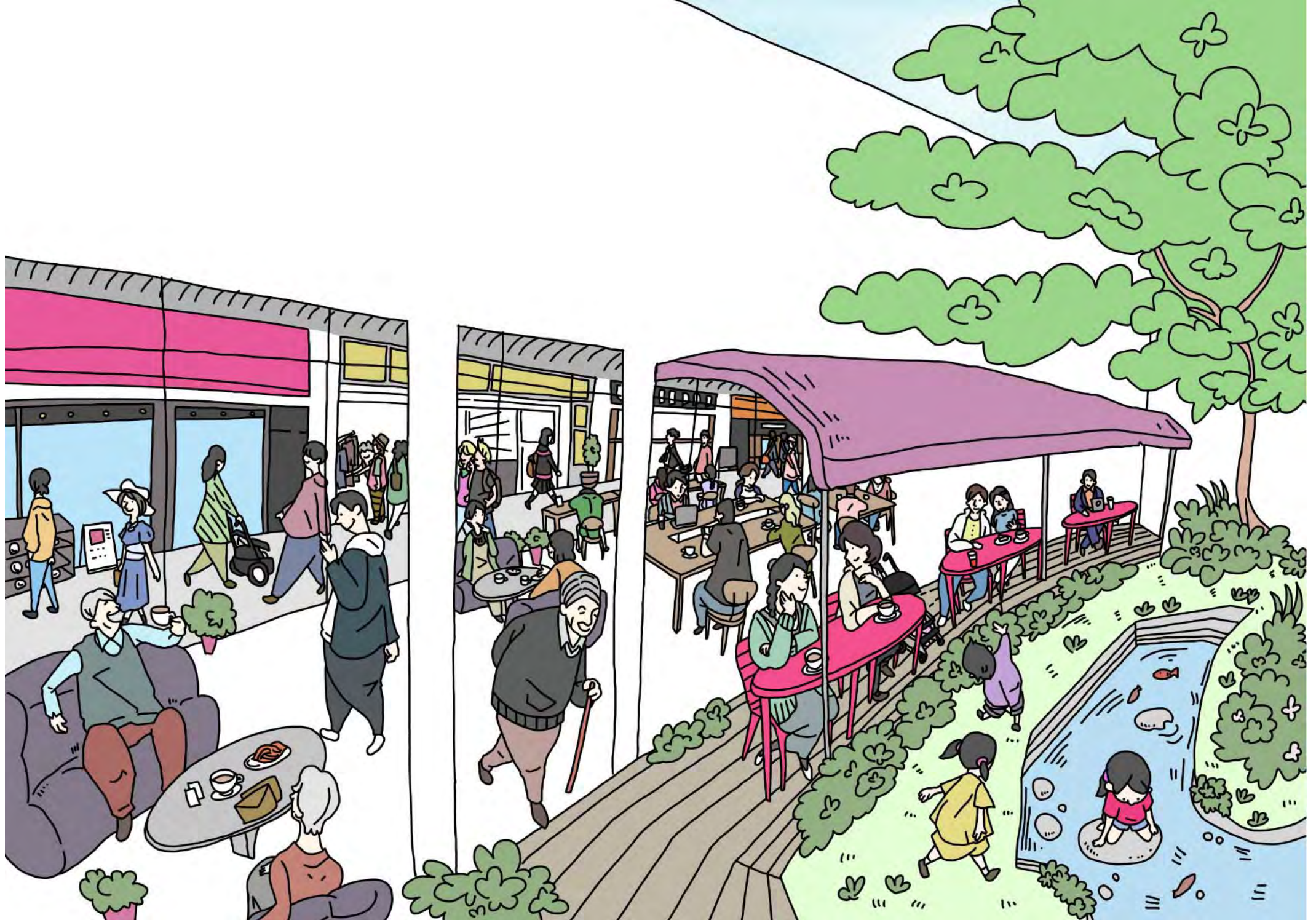
シーン①-1 商店街にある公益施設又は大学キャンパスで新しいビジネスの予感



シーン①-2 商店街にある公益施設又は大学キャンパスで新しいビジネスの予感



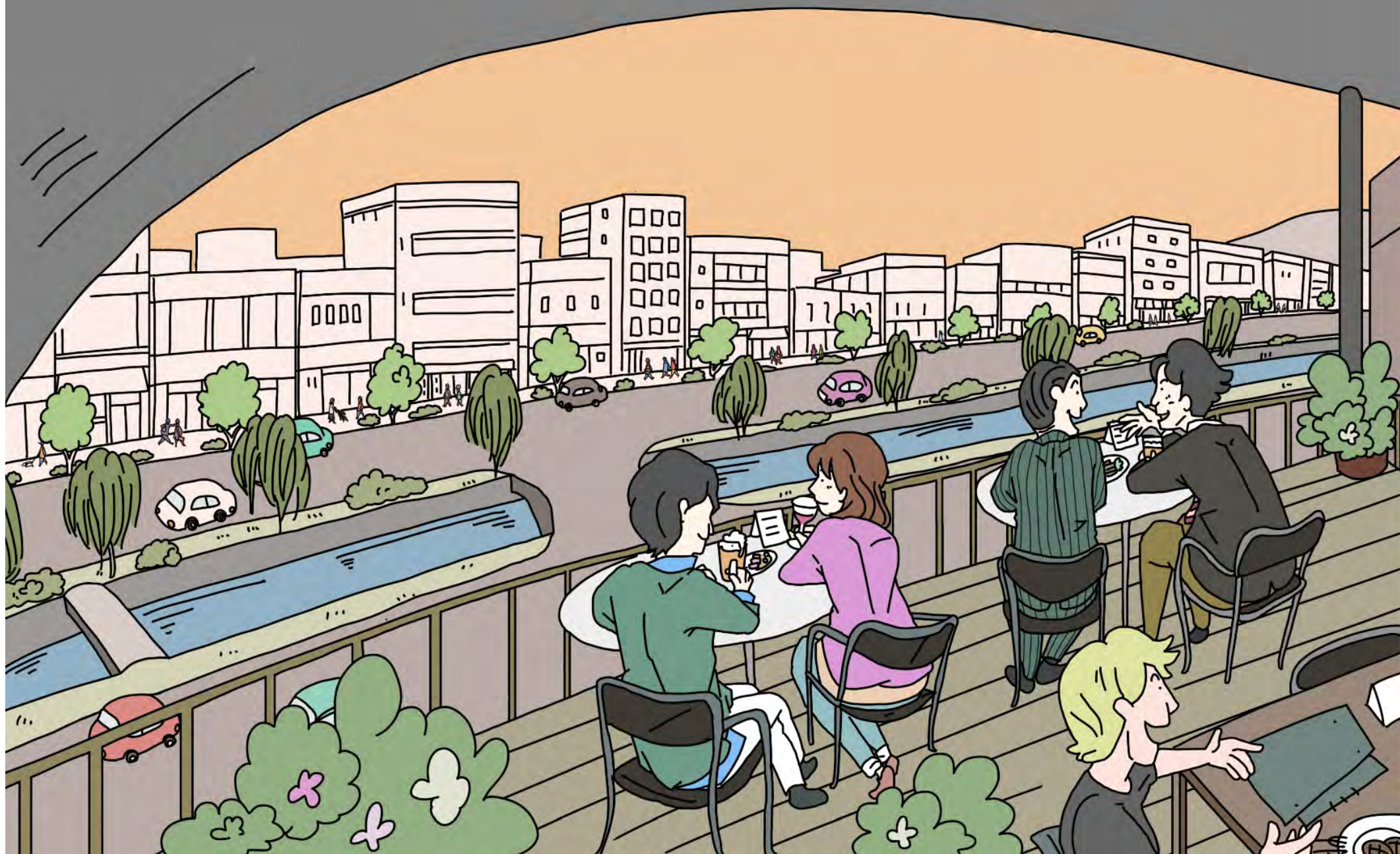
シーン②-1 緑のある広場でさまざまな過ごし方



シーン②-1 緑のある広場でさまざまな過ごし方



シーン③-1 商店街にある便利なお店で過ごす・活用する



シーン③-2 商店街にある便利なお店で過ごす・活用する



シーン④ 観光客との接点をもつ場、もてなす場



シーン⑤ 商店街でアクティブを楽しむ



シーン⑥ 路地裏を楽しむ

あとがき

このイラストブックには、街なか再生サポーター会議でこれまで議論してきた「願い」が込められています。松山の街の再生には、カッコいいビルやきれいな広場だけではなく、そこを思い思いのスタイルで使いこなしている人たちがが必要です。若い人、お年寄りの人、子育て中のお母さん、サラリーマン、観光に来た外国人などいろいろなタイプの人たちが、銀天街L字地区で空間と時間を共有し、それぞれの人たちの生活でかけがえのない場所だと思ってくれる、そんな街になるのを強く願っています。そして、この「願い」を多くの人たちと共感したく、このイラストブックを作成しました。これからの松山の街なかを一緒にワクワクさせていきましょう！